

【サーバ機能】

複数クライアント(XSSH)からの依頼を処理します。

【コマンド仕様】

XSSHD PORT=ポート番号
MAX=最大クライアント接続数
DIR=シェル実行時のカレントフォルダ
LOG=ログ出力フォルダ
PSW=接続用パスワード

《PORT=ポート番号》(Port Number)

クライアントから接続を受けけるポート番号を 1 ～65535 の範囲で指定します。

省略された場合は 2222 番ポート使用されます。

《MAX=最大クライアント接続数》(Max Connect)

サーバに接続可能なクライアントの最大数を指定します。256 以上の値を指定した場合や

省略された場合は 256 に設定されます。

《DIR=シェル実行時のカレントフォルダ》(Current Folder)

シェルを実行する際のカレントフォルダを指定します。

省略された場合はサーバプログラムの配置フォルダに設定されます。

《LOG=ログ出力フォルダ》(Logging Folder)

クライアントの要求内容をログ出力するフォルダを指定します。

省略された場合は C:¥ProgramData¥ExpertLibraryFactory¥sshd に設定されます。

以下の形式でログファイルは作成されます。

XSSHD_yyyymmdd.LOG

《PSW=パスワード》(Connect Password)

クライアントがサーバに接続するためのパスワードを指定します。

通信データは、指定したパスワードで AES 暗号されます。

◆XSSHD のコマンド引数は、サーバ管理パネルを使って作成してください。

起動時実行する XSSHD タスクとして登録されます。

Port Number	22	Logging Folder	C:¥ProgramData¥ExpertLibraryFactory¥	Execute as described
Max Connect	10	Current Folder	C:¥TEMP	
Connect Password	WatanabeMasami88		Generate Password	CANCEL

【重要】 Windows ファイアーウォールで、該当ポート番号が外部から受信できるように設定してください。

【クライアント機能】

XSSHD サーバに処理の実行を依頼します。

【コマンド仕様】

① リモートシェルの実行

XSSD HOST=ホスト名 PORT=ポート番号 PSW=接続用パスワード

② ファイルのアップロード

XSSD HOST=ホスト名 PORT=ポート番号 PUT=アップロードするクライアントのファイル名
DIR=アップロード先のサーバのフォルダ名 PSW=接続用パスワード

③ ファイルのダウンロード

XSSD HOST=ホスト名 PORT=ポート番号 GET=ダウンロードするサーバのファイル名
DIR=ダウンロード先のクライアントのフォルダ名 PSW=接続用パスワード

《HOST=ホスト名》

XSSHD が稼動している サーバ名または IP アドレスを指定します。

《PORT=ポート番号》

XSSHD がクライアントから要求を受付けるポート番号を指定します。
省略された場合は 2222 番ポート使用されます。

《GET=サーバのファイル名》

クライアントにダウンロードするサーバ上のファイル名を完全名で指定します。

《PUT=クライアントのファイル名》

サーバにアップロードするクライアント上のファイル名を完全名で指定します。

《DIR=ディレクトリ名》

GET/PUT オプションで指定したファイルを格納するフォルダ名を指定します。

《PSW =パスワード》

XSSHD で指定されている接続用パスワードを 16 文字以内で指定します。
パスワードが一致しないとサーバに接続はできません。

例) サーバ"ssh_srv"のポート 88 を使って、サーバの"c:¥temp¥sample.txt"をクライアントの x:¥work にダウンロードします。接続パスワードは"XYZXYZ"とします。

XSSH HOST=ssh_srv PORT=88 GET= c:¥temp¥sample.txt DIR=x:¥work PSW=XYZXYZ